



# ぽれぽれレター

第20号  
2013.04.01

**理念**  
「人とよりそう ひらかれた病院」  
**病院基本方針**  
※安心・安全ながん医療を提供します  
※医療提携を進め、地域医療に貢献します  
※豊かな人間性を持った医療人の育成に努めます

**診療案内**  
内科 外科 脳神経外科  
整形外科 耳鼻咽喉科  
婦人科 泌尿器科 放射線科  
消化器科 緩和ケア科  
乳腺外科 腫瘍外科  
【診療受付時間】  
午前8:30～正午  
【診療時間】  
平日 午前9:00～午後5:00  
土曜 午前9:00～正午  
【外来の休診日】  
日曜・祝日・年末年始  
【お見舞い時間】  
正午～午後8:00



## 総務部スタッフ紹介



(左より)山中さん、小林さん、城さん、塚本さん、奥村さん



## <介護保険で利用できるサービス>

**福祉用具貸与**：車いすや歩行器、特殊寝台（電動ベット）などのレンタルができます。

**特定福祉用具購入費支給**：浴室やトイレで使用する福祉用具を購入できます。

10万円を限度に費用の9割が支給されます。

**住宅改修費支給**：手摺の取付や段差の解消など住宅改修をした際に20万円を上限に、費用の9割が支給されます。

その他、訪問看護や訪問リハビリテーションなどの訪問サービス、デイサービスやデイケアの通所サービス、施設への入所サービスなどもあります。

※ 介護保険サービスの利用については、必ず申請手続きが必要です。申請場所は市役所の介護保険課もしくは地域包括支援センター、ケアマネージャーに委託する方法もあります。詳しくは地域医療連絡室までご相談ください。



## 医療コラム 介護保険制度について (地域医療連絡室)



我が国では平成12年に介護保険制度が施行されました。介護保険制度の対象者は、①65歳以上の第一号被保険者、または②40歳から64歳までの第二号被保険者（脳卒中や初老期における認知症など、政令に定められる老化に伴って生じる特定疾病が原因であること）です。平成18年4月より介護保険の特定疾病に「がん」も加わりましたが、第二号被保険者のがん患者さんのすべてが対象となるのではなく、がんに対する積極的治療が難しくなり、生活で何らかの介護が必要になったケースを対象とします。

「介護保険」と聞けば高齢の方だけが対象と思われるがちですが、介護保険を利用することで自宅での療養生活に大きなメリットをもたらします。例えば、がん患者さんが最も多く利用されるサービスとしては、介護ベッド（電動ベッド）のレンタルや住宅改修（手摺の設置や段差の解消など）が挙げられます。介護保険を利用し住環境を整えることが、慣れ親しんだ環境での生活を支えることにつながるのです。その人にふさわしい環境で気がねなく生活を送ることによって、心身ともにリラックスし、あなたらしく過ごすことができるのではないのでしょうか。

ここ最近、一般の方でも「医療と介護の連携」といった言葉を耳にされることが多いかと思います。当院でも「医療と介護の連携」の重要性を認識し、地域のお医者さんや訪問看護師さん、ケアマネージャーさんなど、患者さんやご家族の生活を支える在宅チームとの連携を大切にし、必要に応じて在宅チームと当院スタッフとのカンファレンスなども行っています。随時点滴が必要となる患者さんや、体調によっては通院が負担となる患者さんが多くいらっしゃいますが、そういう時は訪問診療（定期的な往診医による往診）や訪問看護サービスを利用すると良いでしょう。

自宅での生活に不安を感じ始めたときは、地域医療連絡室のスタッフや病院スタッフに声をお掛け下さい。どんなことに不安を感じていらっしゃるのか、その不安を少しでも軽減できるような制度は無いのか、活用できる制度やサービスを一緒に考えていきたいと思っています。





# 新入職員紹介



2013年4月、また新たな仲間が彩都友誼会病院に加わりました。医師1名、看護師10名、診療放射線技師1名、薬剤師3名の皆さんです。新たなメンバーが加わったことで院内にも春のさわやかな風が吹き始めています。

新メンバーを加えると現時点で医師15名、薬剤師9名、看護師138名、診療放射線技師12名、臨床検査技師5名、理学療法士4名、言語聴覚士1名、管理栄養士3名、看護助手25名、クラーク8名、SE1名、診療情報管理士2名、医事課8名、総務7名、地域医療連携4名、秘書1名、保育士8名、保育助手2名の総勢253名となります。その他、外来診療については約30名の非常勤の先生方にご協力を頂いています。



平成25年度もがん専門病院としての質の向上をめざし、当院の特徴である緩和ケアのさらなる充実に加え、がんの診断・治療にスタッフ全員が連携・協力し合いながらより質の高い診療の実現を目指します。

厳しかった冬もようやく退き、鳥のさえずりや木々の芽生え、そして春の象徴であります桜の開花が始まっています。季節が進むに連れて、緑豊かな彩都には地名のごとく、そこそこに花が彩る街となります。この街で皆さんに信頼され親しまれる病院となるように努力してまいります。



## 彩都の街から



昨年11月、モノレール彩都西駅前に人気の雑貨店 Francfranc の新たなコンセプトショップ「Francfranc Le Garage(フランフラン ガラージュ)彩都店」がオープンしました。家具を中心に、お部屋を彩るインテリアアクセサリや雑貨などのアウトレット商品を豊富に取りそろえた素敵なお店です。



その店舗内に併設されるのが今回ご紹介する F CAFE(エフカフェ)です。Francfranc とのコラボレーションで誕生した、日本で唯一の併設カフェで、Francfranc Le Garage(フランフランの倉庫)のコンセプトにあった料理やお酒を楽しむことができます。特におすすめは本格的なパスタとリトニというアントシアニンを豊富に含んだビルベリー100%のジュースです。昼はランチ、カフェ、夜はダイニングとして幅広く利用でき、倉庫をイメージした店内と開放感あふれる広いカフェテラスはくつろぎの空間を演出しています。また店内に置かれている家具や小物はどれも Francfranc の商品というのもいいですね。

気持ちのいい季節になりました、ぜひ一度足を運んでみてください。



週替わりランチ(パン、サラダ、パスタ) 1,100円  
有機栽培コーヒー(1杯おかわりつき) 480円



編集後記：このほれほれレターもやっと発行20号を迎えることができました。「継続は力なり」と言うように、このレターが彩都友誼会病院とともに末永く愛される読み物となるようにがんばります。  
発行者：中村仁信(病院長) 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号  
編集長：福西康修(放射) TEL072(641)6898 Fax072(641)6097  
編集委員：中嶋真一郎(医師) 森下孝子(看護) 橋本千佳子(健診) 常島啓司(情報) 志田原直子(医事課) 伴野真希(放射)

<http://www.saito-yukoukai-hp.jp/index.htm>  
「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます!

このニュースレターご希望の方は総合受付・地下受付にお越し下さい